

令和元年度春日井市道風記念館運営協議会議事要旨

1 開催日時 令和元年6月7日（金）午前10時00分～午前11時00分

2 開催場所 道風記念館 展示室兼会議室

3 出席者 会長 中村 強
委員 安達健治（会長職務代理者）
後藤清勝
野田晴義
長谷川義一
日比野典子
水谷栄太郎
山川 徹
文化スポーツ部長 上田 敦
文化・生涯学習課長 内藤純子
課長補佐 伊藤英彦
道風記念館館長 倉知康雄
上席学芸員 落合 哲
主査 鈴川宏美
主事 大矢翔太
傍聴者 なし

4 議 題 (1) 平成30年度事業報告について
(2) 令和元年度事業計画について
(3) その他

5 会議資料 (1) 平成30年度事業報告
(2) 令和元年度事業計画

6 会議内容

(1) 部長あいさつ

(2) 会長選出

委員の互選により、中村強委員が会長に選出された。

(3) 会長あいさつ

(4) 会長職務代理者指名

会長により、安達健治委員が会長職務代理者に指名された。

(5) 議事

7 議事内容

(1) 平成 30 年度事業報告について

平成 30 年度事業について報告した。次のような質疑応答・意見があった。

- | | |
|------|--|
| 水谷委員 | ・ 常設展示の解説は、書の内容が多くを占めているが、日本文化史や歴史など一般知識の内容もあるとよい。また、展示構成や内容についても日本の歴史や文化史のなかで、どのような位置にあるのか、具体的に示されるとよい。 |
| 鈴川主査 | ・ 説明内容を再検討し工夫していく。 |
| 中村会長 | ・ 今後の展示や解説等で、主たる内容はもちろん、それに関わる歴史的事項も織り交ぜることを検討してほしい。 |

(2) 令和元年度事業計画について

令和元年度事業計画について説明した。次のような質疑応答・意見があった。

- | | |
|------|---|
| 野田委員 | ・ 小学校 1 年生から毛筆に取り組むことが定着し、小さい頃から書に関心を持つ市民が増えてきている。また、道風記念館では毎年子ども向けの展示やワークショップが開催され、低年齢層に働きかけができていてよい。さらに多くの子が参加できるような宣伝活動ができるとよい。 |
| 安達委員 | ・ 近頃、歴史のジャンルなどで、若い研究者が、まだ仮説の段階であっても新しい考えを発表し、一般のファンも含めて湧き上がっている。書の分野でも過去に研究は終わっているという見方ではなくて、新しい考えが広まることで鑑賞者の層が広がっていくと思う。新しい考えを道風記念館が提案する。または研究者を招いて新しいことに取り組む。そうしなければ、時代の流れにとり残されることになってしまう。入館者数は少なく、一般の人々へ浸透していないことを考えると、従来とは違う視点で企画をしていく必要がある。 |
| 中村会長 | ・ 企画について、従来の評価とは異なる観点から新しい主張をする。それらが宣伝活動やパンフレット等を示されれば、興味を持つ人々が増えるのではないか。検討してほしい。 |
| 水谷委員 | ・ 令和元年度特別展の関連事業の予定はあるか。 |
| 鈴川主査 | ・ 1 件講演会が内定している。その他イベントは思索中であ |

る。

- 水谷委員 ・企画展「おののとうふう～小野一族のひみつ～」は一般の人々にも興味をもってもらえるような内容になりそうである。今回は子ども向け展示だが、他の機会にも小野一族など歴史的事項について取り上げるとよい。道風に対する関心に広がりができ、道風の魅力をさらに引き出すことができるのではないか。
- 中村会長 ・道風記念館の観覧料は安すぎないか。
- 鈴川主査 ・美術館や博物館の観覧料は無料という考え方が根底にあるので、低料金の設定をしている。また、他の公的美術館でも常設展の観覧料は 200～300 円であり、当館の規模を考えると妥当ではないかと考えている。
- 安達委員 ・資料収集のための予算を確保できないか。今求めなければ散逸したりなくなったりしてしまうような貴重な資料がある。単年度でなくとも積み立てるなどして、いざというときに備えられるように努力してほしい。

(3) その他

道風記念館事業運営について、次のような質疑応答・意見があった。

- 後藤委員 ・貴重な資料を所蔵する書家が高齢になってきている。そのような所蔵者から寄贈の申し出があった場合、受け入れられる体制は整っているか。
- 鈴川主査 ・書道関係図書や書作品の寄贈の申し出は多数あるが、収蔵スペースがないため、精査して必要最低限を受け入れている。今後、収蔵庫を拡張する、あるいは増築するなどの策を講じる必要がある。
- 中村委員 ・改修工事にあわせて収蔵庫を拡張する予算をつけられないか。
- 内藤課長 ・予算の計上を考えていく。
- 上田部長 ・必要性を十分に検討する。

上記のとおり春日井市道風記念館運営協議会の議事の経過及びその結果を明確にするために、この議事要旨を作成し会長及び出席委員 1 名が署名及び押印する。

令和元年 6 月 25 日

会 長 中 村 強

委 員 安 達 健 治